

表面

運 転 日 報

太枠内は法定記載事項であり、必ず記載すること。

ただし、大型車は、@記号の欄についても必ず記載すること。

(大型車とは、車両総重量8トン以上又は最大積載量5トン以上の車両をいう。)

(タコグラフ併用様式) [タコグラフ用紙には、①運転者氏名 ②乗務開始・終了日時、場所 ③休憩、睡眠の日時、場所 ④走行距離 を記載のこと]

社長	統括運行管理者	運行管理者	補助者
印	印	印	印

令和 年 月 日 ()	運転者氏名	車両番号	最大積載量
			kg

項目説明

地 点 過 等 地 点 管 理 、 番 号 集 貨	A. 経過地点、集貨地点、 地域名、荷主名等	B. 輸送品名	C. 積載数量@ (トン、個、PL、Bx、 $\frac{1}{2}$ 、m)	D. 積付 け 状況@	E. 荷積・ 荷卸 の別	F. 運転者の 荷役作業 の有無
	G. ◆到着指定日時	H. ◆到着日時	I. 到着時点の走行キロ	J. ◆出発日時		

◆欄については、到着日時が指定されていない時、記載を省略して良い。

記載欄

1.	A. 場所	B. 品名	C. 数量	D. 積付 ☐	E. 積・卸	F. 有・無
	G. 指定	H. 実着	I. km	J. 発		
2.	A. 場所	B. 品名	C. 数量	D. 積付 ☐	E. 積・卸	F. 有・無
	G. 指定	H. 実着	I. km	J. 発		
3.	A. 場所	B. 品名	C. 数量	D. 積付 ☐	E. 積・卸	F. 有・無
	G. 指定	H. 実着	I. km	J. 発		
4.	A. 場所	B. 品名	C. 数量	D. 積付 ☐	E. 積・卸	F. 有・無
	G. 指定	H. 実着	I. km	J. 発		

(注) 到着時間指定があり待機が発生した場合、または、運転者が荷役作業等を行った場合には、裏面も記載のこと。

運転の 交代	日 時 :	場 所	遅延等異常状態 の 発生概要と原因	燃料給油 量 (リットル)
運行指示 内容				

1年保存

裏面

(注意) ☆欄は、荷主の都合や指示で到着指定時刻以降に合計で30分以上の待機が発生した場合に記録する。★欄は、運転者が荷役作業等を行った場合に記録する。ただし、★欄については、契約書、送り状等に荷役作業内容が全て明記されている場合で、当該作業時間が1時間未満であれば記載しなくてもよい。

運転者が実施した荷役作業の番号	1. 積み込み(a.手荷役、b.機械荷役)、2. 取卸し(a.手荷役、b.機械荷役)、3. 荷造り、4. 仕分、5. 検収・検品、6. 横持ち、7. 縦持ち、8. 棚入れ、9. ラベル貼り、10. はい作業、11. その他(右欄に集荷地等別に別記)	別記
-----------------	--	----

[illegible]

日常点検

		点 検 箇 所	点 検 項 目	結果			点 検 箇 所	点 検 項 目	結果		
毎日実施する点検	① 運 転 席 で	ブレーキペダル	踏みしろ・きき具合		自動車からの走行距離や運行時期に判断する点検	① 運 転 席 で	エンジン	かかり具合・異音			
		駐車ブレーキレバー	引きしろ(踏みしろ)					低速・加速の状態			
		◎空気圧力計	空気圧力の上がり具合				ウインドウワッシャ	液量と噴射状態			
		◎ブレーキバルブ	バルブの排気音				ワイパー	拭き取りの状態			
	② 車 の 周 り で	灯火装置・方向指示器	点灯・点滅具合・汚れ・損傷、レンズ・反射器の変色			② 車 の 周 り で	バッテリー	液量			
		タイヤ	ブレーキオイルリザーバタンク	液量・漏れ				タイヤ	溝の深さ		
							空気圧		★冬用タイヤプラットフォーム		
							亀裂・損傷		ラジエター	水量	
							異常な摩耗		ファンベルト	張り具合・損傷	
							※取付け状態		潤滑装置	エンジンオイルの量	
		◎エアタンク	タンク内の凝水				◎ブレーキチャンバ	ロッドのストローク			
							◎ドラムとライニング	隙間			

◎ 印の点検箇所は、エアブレーキが装着されている場合に点検する

※ 印は、法令では車両総重量が8トン以上が対象

★印は、冬用タイヤ装着時に雪道等を走行する可能性がある場合に点検する

運行中の異常箇所 (前日または前回)
異常箇所の措置
整備管理者による運行の 可否決定(押印)
印